



四月の俳句

(2021年4月)

目次

たべもの俳句	モロク俳句	歳時記俳句
11	6	1
）	）	）

< 卯月 >

陽春，仲春，惜春，春日，春和，春粧，春陽，春眠，春風，春暖，温暖，卯月，桜端，桜花爛漫，花冷え，菜種梅雨，春眠暁を覚えず

(宇佐美保幸)メール・zeirisi777usami@aol.com

毎日の俳句は次のブログに
巣鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

今更に無視それだけの四月ばか
新社員顔認証に戸惑いて
新社員昼餉の店を迷いけり

てにとつてたんぽぽのわた吹いてみる
てにとつてたんぽぽのわた風に乗せ
たんぽぽは口ぐせ増えて風まかせ

つばめつばめ寄り道しようよ図書館に
燕の巣空き家とばかりになりけり
高つばめどこで捕らえた口に虫
エネルギー無限か燕また空に
つばめつばめ過疎の村には本屋なく

かすみ草何を隠してかぼうのか
雨靴も新入生もピッカピカ

普通とはすごいことなり雪柳



月明かり月を飾って雪柳
雪柳私の願いも聞き流す

ぼんやりとぽわんとエリカ花盛り
引きこもりせめてブランコ漕いでみる
ブランコを立ちこぎ自慢年長さん
ブランコや大テントの上無重力

団地にはあんず公園杏咲く
正直であること大事八重桜
泣き言も迷いも多く四月かな
どっぷりと暮春けだるくスロージャズ

生きてきて生きて一途な花蘇芳
自ずから身動きとれず花蘇芳

飛花落花電車が空に舞い上げて
吹き上げて塔にからんで落花かな



星空に星ときらめき落花かな
をさなごは迷惑顔に花ふぶき

ペンギンは遠足をして喜ばれ
空気が佳し水佳し風もピクニツク

廃線の駅しんかんと穀雨かな
庭の草緑立ち上げ穀雨かな
晩学の俳句に迷い亀鳴けり

地下深く走る地下鉄春嵐
春嵐ビニール傘をまた壊す
春嵐回り回って家の中
地球儀をくるくる回し春嵐

スニーカー新調すれば春驟雨
これも花雨の匂いと葱の花
大根は花を咲かせば終わりけり



華やかでどこかさみしく藤の花
さわさわと揺れて香りも藤の花
遠くからそして近くに藤に風

過不足もなく今年も花は葉に

行く春や模様替えして断捨離も
霊園を散歩し春を惜しみけり

昭和の日皆が忘れてただ休み
「赤チン」もついに終わりで昭和の日
昭和昭和話したりない昭和の日

東京にやうやく馴染み四月尽
虎杖をむかしおやつに四月尽





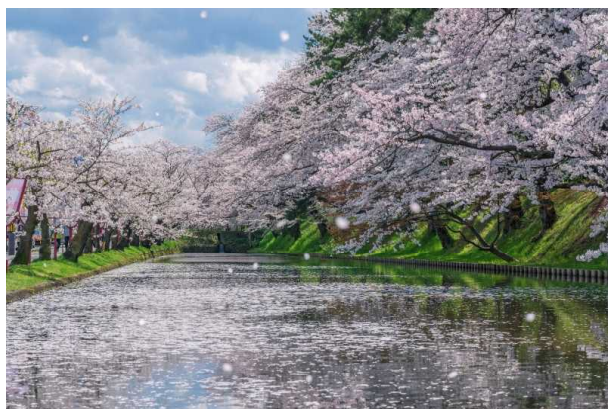
モーロク俳句

モーロクし架空恋文四月馬鹿
振り込めとモーロクすれば四月馬鹿

モーロクし老眼鏡や黄砂降る
モーロクし闇は見せずに花空木

人はみないずれモーロク初桜
花浴びてモーロクすれど嬉しき日

モーロクし今日の花とぞ花見して
モーロクし回りくどさも花の雨
モーロクも満開過ぎて花の雨
モーロクし花の後ろに懸想する
モーロクしまだ生きている桜咲く
モーロクし閉じゆく枝垂れ桜かな



モロククし崩壊の世の桜かな
花すべて残像なのかモロククも

モロククしはかなき夢を桜漬
モロククし持ちつ持たれつ桜草

モロククし死にたい男桜餅
モロククしちぐはぐ会話桜餅

モロククし頑固で暇で黄楊の花

モロククし思い出亡くし桜貝

モロククし銀座の柳銀座蕎麦

モロククし春眠という穴の中

春眠や醒めてモロクク全身に

まはり皆全てモロクク朧かな

朧夜の瞼重たくモロククす

郁子の花転んで咲いてモロククし



全身がモーロクすれど長閑とも

八重桜咲くねむたさやモーロクし
寝て起きてモーロクすれど八重桜
八重桜モーロクすれば重い今日

モーロクし脚色多く春の夢
モーロクし鏡を壊す春の夢
亀鳴くやたまにロツクもモーロクし

モーロクの事前練習春曙
春昼の息苦しさやモーロクし
モーロクし胸のつかへよ花の昼

モーロクし歩く健康山笑う
モーロクしボーツと生きて山笑う

鳶の輪のモーロク忘れ春の海



言靈やモーロク進む春の月
モーロクし春や明日は何食べる

麗かや死ぬ場所見つけモーロクす
モーロクし眠るも死ぬも麗かに
モーロクはほろ苦きもの春怒濤
モーロクし長寿は苦き春怒濤

モーロクし思い出探しつつ咲く

葉桜やモーロクすれど寄り添いて
モーロクし約束忘れ花は葉に
葉桜やモーロクすれど昼間酒
夕焼けてモーロク俺と葉桜は

春筍モーロクすれど力湧く
歩行器を押してモーロク日永かな



行く春や輪ゴムのごとくモーロクし
無為に過ぎモーロクだけの春惜しむ
ゆく春やモーロクすれば鍵二つ

モーロクし晩春愛すマヨネーズ
晩春の強弱なくてモーロクす
昭和昭和モーロクしたり春の暮れ
暮の春昨日を忘れモーロクし

モーロクし風呂にしむ身四月尽



たべもの俳句

花曇り厚く羊羹二人して
独活あえに吟醸添えて夕間暮れ
花の夜にお粥を食べる風の音

ほろ苦きクレソン刻みチャーハンに
クレソンの束贈られていかにせん
クレソンは永遠野党付け合わせ

桜餅いずこの葉かと思案して
癌手術生きてかえって桜餅

春キヤベツ二つに切って生け花に
春キヤベツごまドレあえる蒸し鶏と
春キヤベツたつぷり刻み棒餃子



春キヤベツただ刻むだけサラダかな
春キヤベツ目的もなく千切りし

木の芽あえレシピ確かめ胡麻加え
だしで煮る鱈の煮付け若布添え

八重桜香り閉じ込め桜漬け
桜漬けおむすびにして春ランチ
炊き込んでピンクに染まる桜漬け

新たまねぎまるごと煮込み春おでん
桜鯛絵を描くごとく漬け丼に
餃子焼くキムチも添えて遅日かな

遠足に行った気持ちでにぎりめし
遠足や唐揚げ弁当完食し
ソテーして春椎茸に岩塩を



アボカドを二つに割れば燕来る
リゾットや春を詰め込み春つまむ

満開のつつじに負けずちらし寿司
春暁や粒ごと光る明太子

春愁の新幹線やカツサンド
大福や二人で汚す春の指
道の駅葉付き大根春盛り

生わかめ納豆と混ぜネバネバ井
春深しウイスキーのあと甘納豆
永き日に赤福さらに伊勢うどん

揚げたての牛カツ旨し昭和の日
奮発しステーキ食べる昭和の日
カツ丼に味噌汁添えて暮の春
甘露煮が艶めく色に春の暮



もんじゃ焼き匂う月島暮春なる



